

2023年度 第1回細胞検査士会役員会議事録

日 時：第64回日本臨床細胞学会総会（春期大会）
2023年6月9日（金） 15：00～16：00 現地

場 所：名古屋国際会議場 2号館 1F 212

出席者：【会長】阿部仁
【副会長】澁木康雄，山城篤
【幹事】青木裕志，仲村武，棚田諭，平田哲士，三宅真司，遠藤浩之，松本慎二，加戸伸明，阿部英二，古田則行，柿沼廣邦，田路英作，伊藤仁，原田仁稔，田口雅子，河原明彦，河村憲一，木下勇一，内山勲，佐々木健司，岸本浩次，町田知久，藤岡学，有田茂実，長友忠相，宅見智晴，姫路由香里，小材和浩，丸川活司，中村純子
【監事】石井保吉，鳥居良貴
【オブザーバー（新幹事）】石原光浩，大澤幸希光，佐藤憲俊

欠席者：横山俊朗，小林幸弘，小山芳徳，今枝義博，土田秀，南部雅美，片山博徳，服部学，廣井禎之，藤田勝

会の成立：役員45名中35名出席，委任状提出10名で会が成立した。
議長：阿部会長が青木総務委員長を指名。
議事録作成：棚田諭，中村純子
議事録署名人：石井保吉，鳥居良貴

I. 開会

II. 会長あいさつ

今回の役員会につきましては，コロナが感染法上第5類ということになりましたので，現地の日の開催とさせていただきますことをご了承ください。

まず初めに，2023年は細胞検査士会役員会選に当たります。役員選挙の結果，30名の方が役員に当選され，当役員会には元役員の方と新役員になられた方にオブザーバーとして参加いただいております。今回役員を退任される方には，細胞検査士会にご尽力いただきまして感謝申し上げます。新たに役員となられる方には，細胞検査士会にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

また，日本臨床細胞学会でも評議員の選出，理事会開催の年であり，2021年，2022年に引き続き，私と澁木副会長，伊藤幹事の3名が理事に当選いただきました。ご協力いただきました皆様方には心より感謝申し上げます。

さらに細胞検査士会から理事を増やすために，正会員や評議員を増やすための取り組みを継続してまいりたいと思います。ご協力のほどお願い申し上げます。

また簡単ではありますが，日本臨床細胞学会のことにつきましてお知らせがあります。

日本臨床細胞学会の理事の任期満了に伴いまして，明日の総会で北里大学の佐藤之俊先生から，東京慈恵医科大学の岡本愛光先生に理事長が変わることが決定しております。

III. 議事録確認

2022年度第2回細胞検査士会役員会議事録の確認【資料1】 議案書P.26
議事録として成立

IV. 報告事項

1. 物故会員

物故会員の報告（棚田庶務委員長）
物故会員に対する黙祷（阿部会長）

2. 2023 年度事業計画及びこれに伴う予算書【資料 2】 議案書P.29
2022 年度第 2 回役員会にて承認済。内容の確認

3. 2022 年度第1回委員長会議 議案書P.2
内容の確認

4. 2023-2024 年度の役員選挙経過/結果 議案書P.2-3
古谷津選挙管理委員長欠席のため青木総務委員長より報告
選挙の途中経過は 2022 年度の第 2 回の役員会にて報告済。選挙人及び役員の報告について、人数に途中誤りがあり、調査を行い、正しくは役員に関しては 30 名、選挙人に関しては 256 名。
会長：阿部 仁（あべ ひとし）
定数 1 名、立候補者 1 名のため、「2023-2024 年度役員選挙実施要綱」に基づき、選挙管理委員会で協議の結果、無投票当選。
副会長：澁木 康雄（しぶき やすお）
副会長：山城 篤（やましろ あつし）
定数 2 名、立候補者 2 名のため、「2023-2024 年度役員選挙実施要綱」に基づき、選挙管理委員会で協議の結果、無投票当選。
会長・副会長の当選証書授与（青木総務委員長）

（阿部会長あいさつ）

2 期目を拝命いたしました。皆様方のお力添えをいただきまして、今後、コロナ前と同じような活動が要求されてまいります。ただ、コロナ禍で色々な Web が普及したため、今後新たな研修会の対応が必要になってくると思います。皆様方のお力添えをいただきながら、いろいろな難局に対応していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

（山城副会長あいさつ）

私も 2 期目継続することになりました。次年度は医師の働き方改革が2024 年度から始まって、私たちの団体だけでなく、他の団体との接点も色々これから模索しないといけない時代に入ってきました。そういう方面も考えながら、今期また進めてまいりたいと思えます。次期、澁木副会長と阿部会長を支えていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

（澁木副会長あいさつ）

再任させていただきありがとうございました。微力ではございますが、阿部会長を補佐して、会務に尽力したいと思っておりますので、何卒よろしく願い申し上げます。

選挙の実施要項に関する質疑

（平田規約委員長）全会員を選挙人として選挙する方法について、Webを利用した投票に関する方法について検討すると施行細則にあるので、選挙管理委員会は総会で任を解かれてしまうが、これに関して報告がどのようになされるのか。（平田規約委員長）

（阿部会長）今、日本臨床細胞学会の選挙が電子投票に変わろうとしているがまだ審議事項となっている。細胞検査士会としては、日本臨床細胞学会の方が電子投票になった時点

で、そのノウハウを生かして導入していきたい。今年の本役員理事会、あるいは次期理事会で決定された後に細胞検査士会としては、2年後を目処に電子投票に進めていきたいと考えており、今後審議を進めていく形となる。

5. 2023-2024 年度役員/委員会構成 議案書 P.4

阿部会長より、2023-2024 年度の細胞検査士会役員新体制の確認

6. 公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士に関する施行細則の変更 議案書 P.5

7. 細胞検査士会会計に関する細則変更 議案書 P.6

平田規約委員長より説明

議案書 P.5 の訂正

訂正前「公益社団法人日本臨床細胞学会 定款・施行細則 細胞検査士に関する施行細則の改訂」

訂正後「公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士に関する施行細則の変更」

6. 7とともに前回の役員会で承認済。定時総会にて議案として否決し、承認が終わった後に、両方ともこの規則が発行となる。

大きな変更点は、事業計画及び予算書、事業報告及びこれに伴う収支決算書、この2つは今までの施行細則では、議決事項、議案として総会に諮る内容であったが、次回より細胞検査士会総会への報告という内容に変更となる。

8. その他

報告事項の内容に質問および意見がないことを確認した。

V. 議案

1号議案：2022年度事業報告及びこれに伴う収支決算書 議案書P.7-23 可決・承認

仲村経理委員長より説明

本会計報告書は、日本臨床細胞学会が作成した収支決算書であり、会議などの全ての収支が反映されている。コロナの感染拡大により、特に国際委員会が全く活動できていないために、支出が抑えられ、黒字が大きくなっている。

また、収入の内訳の中で、学会立替金67万1880円は、学会事務局が細胞検査士会の支出に対して、日本臨床細胞学会の口座から支払い、その後細胞検査士会からの口座より返金していないものになり、この金額は2023年度に返金予定となっている。

この件に関して、学会事務局に対し、細胞検査士会の支出は全て細胞検査士会の口座から振り込んでいただくように依頼済。

鳥居監事より会計監査報告

2号議案：監事候補者の選任 可決・承認

最終的に監事は次回総会で決まるため、今回は候補者となる方を選定

阿部会長より石井保吉監事、鳥居良貴監事を推薦。

VI. 確認・検討事項

1. 経理委員会内規：細胞検査会報酬などの支給及び支出基準について 議案書 P.24-25

仲村経理委員長より説明

謝礼等の金額について、文章化されているものが何もなかったためこれまで行ってきた内容で内規を作成した。講師料並びに、交通費、会議等に関わる食事の補助についてまで細かく規定している。体裁や文言は規約委員会と経理委員会で吟味する。

金額に関する質疑

- 金額について10年間変わっていない。
- 医師と技師の金額を分ける必要性について。
- 検査士の講師料を上げてもいいのではないか。
- 各委員の方々のために、特に学術と精度保証の方々は非常に苦勞されて運営されているので、謝礼をあげてもいいのではないか。
- 1万5千円は安すぎるのではないか。
- あまり上げすぎると会そのものが逼迫してしまう可能性もある。
- 一律2万円ぐらいが妥当か。

仲村経理委員長と平田規約委員長とで引き続き検討

2. その他

1) パンフレット「がん診断の担い手」第4版について

三宅渉外委員長より説明と印刷部数の確認

前回2014年に4万部を印刷し、2021年になくなるまで7年間改訂がなかった。情報が新しく変化していくことも考慮し、今回の印刷部数は2万部に決定。

印刷完了次第、役員会及び都道府県代表者委員会のメーリングリストで配信。

配付希望の場合は、渉外委員会の委員長に申し込む。送料は渉外委員会負担。

2) 今後の選挙について

平田規約委員長より、全正会員を選挙人とするということに関して本役員会で考えていく必要性について提案があがった。

青木総務委員長より、全正会員を対象にすることも選挙管理委員会の今回の審議すべき事項になったが、検討を持ち越している旨報告。

阿部会長より、全正会員での選挙を決めた後で、予算の面で白紙に戻さなければいけないことになる場合があるので、現時点では意見を聞くという形にとどめておき、学会の方向性を見ながら審議していきたいと考えている旨説明。

棚田庶務委員長より現在の正会員数1130名と報告。

選挙人に関する質疑

- 全正会員で行うことを賛成なら役員会としての総意は決めておくべき。
- 他の学会の選挙の状況とかそういった情報も参考に教えていただきたい。
- 昔の専門医会と関係の悪い細胞検査士会に戻らないこと、Web選挙でどういう人がきちんと選ばれるか方向性を考えていただきたい。また、若い人が役員になるように育てていただきたい。
- 正会員のみで選挙をした場合に準会員からの不満も上がると思われる。
- 立候補しやすい、投票しやすい、正会員の権利は守られるような意思決定をしてほしい。
- 会長、副会長からの考えや方向性を示していただきたい。

・若い人が正会員に入らないと、現在 50 代、60 代の正会員が退職し減少していく推移も考慮して考えていただきたい。

3) 国際活動と細胞検査士の英語表記について

加戸国際委員長より報告

① コロナの影響で活動ができていなかったが、2024 年の 3 月に台湾で行うことが正式に決定した。

② 細胞検査士の英語表記について、国際的に cytotechnologist という言葉が cytologist という言葉に置き換わりつつある。実際アメリカの certification には cytotechnologist ではなく cytologist となっている。その意味合いとしてスペシャリストに Cytology という形になっている。IAC はまだ cytolechnologist のままだが、IAC のボードメンバーに入っている検査士の方は cytologist ということで表記がされている。台湾韓国等に先だって日本の検査士会として動き始めていく時期と考えている。

4) 掲載写真の引用に関する動向

松本学術委員長より報告

細胞検査士会のホームページ、並びに細胞検査士会発刊の検体処理マニュアル等の刊行物に関する写真や文書の引用利用に関する規定が今現在ない。学術委員会が中心になって、ホームページや刊行物に関するものの引用に関する規定を次回秋の役員会までに素案を作り、提出する予定。基本的なコンセプトとしては、細胞検査士会が発刊する細胞の写真等は、多くの方に利用していただくべきだと思われ、学術目的の使用ものに関しては基本的には無償、商業や宣伝目的の場合には有償という方向で考えている。

5) 健診アドバイザリーについて

阿部会長より報告

2023年4月21日、22日に開催された日本臨床細胞学会第1回理事会で、細胞検査士にもワーキンググループを立ち上げて、健診アドバイザリーについて検討していきたいということを伝えた。明後日の理事会で認められたら、細胞検査士会の中にも、健診アドバイザリーワーキンググループが立ち上がるようになると思われる。

6) セルフアセスメントの写真集について

仲村経理委員長より精度保証委員会への要望

もし今後セルフアセスメントの写真集を出す場合は、すべて公開できるような写真を考えていただきたい。その上でHPへ解説などを公開すれば、会員の為になるものと思われる。

VIII. 閉会